

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2,372	t-CO ₂
①を除外した温室効果ガス換算排出量	②非エネルギー起源二酸化炭素 (③を除く。)		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素 (発電所等配分前)		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量 (①~⑩合計)		2,372

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
温室効果ガス総排出量	2,707	t-CO ₂	2,699	t-CO ₂	2,504	t-CO ₂	2,295	t-CO ₂	2,372	t-CO ₂
削減率 (対 基準年度)			0.3	%	7.5	%	15.2	%	12.4	%
温室効果ガスみなし総排出量					2,493	t-CO ₂	2,286	t-CO ₂	2,363	t-CO ₂
削減率 (対 基準年度)					7.9	%	15.6	%	12.7	%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和 3 年度		令和 6 年度		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
原単位あたりの排出量										
削減率 (対 基準年度)				%		%		%		%
原単位あたりのみなし排出量										
削減率 (対 基準年度)						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価 (目標の達成/非達成の理由)

目標は達成をしているが、令和5年度と比べると数字は悪化している。平均的な燃費は昨年度と変更はないが、仕事量の増加に伴って、悪化したと考えられる。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
エコドライブの実施	各車両の燃費向上の為、全乗務員に省エネ走行研修を実践させる。	導入した車載端末を利用し、運行状況を把握することで省エネ運行を実践させる。	デジタルタコグラフにより、アイドリングの状況を確認し、無駄なアイドリングはしないようにドライバーの指導を実施。
低公害車の導入	最新適合ディーゼル車の導入について計画を策定し、目標達成に向け導入に取り組んでいる。	車輛代替時には、最新適合車の購入やアイドリングストップ機能がついた車両を優先的に購入する。	定期的な車両代替を実施し、およそ、10年以上たった車を代替している。
自動車の点検整備	エンジンオイルも低燃費対応のオイルとし、エアフィルター清掃・交換にあたっては、走行距離について独自の基準を設定し実施している。	全車両、3箇月毎に実施する。	全車両について、基準に沿った清掃・交換を行った。
廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進	環境ラベル対象の物を優先購入する。		
事務所における環境保全への推進	冷暖房温度を28℃・19℃を徹底する。	クールビズ・ウォームビズを推進する。事務仕事については、室温に応じた服装で行う。	

指針第 2 号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力	太陽光発電	9.2 t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値 (クレジット等) の活用状況

計画期間 3 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

9.2	t-CO ₂
-----	-------------------

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

エアコンフィルターの清掃

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

会社施設の照明やエアコンや電化製品のスイッチオフを徹底している。毎週、巡回し、担当部署へ指導を実施。
--